



最新 オーストラリア マーケット動向

2020/8/4 発行 週刊

作成：三井住友DSアセットマネジメント株式会社
URL: <https://www.smd-am.co.jp>

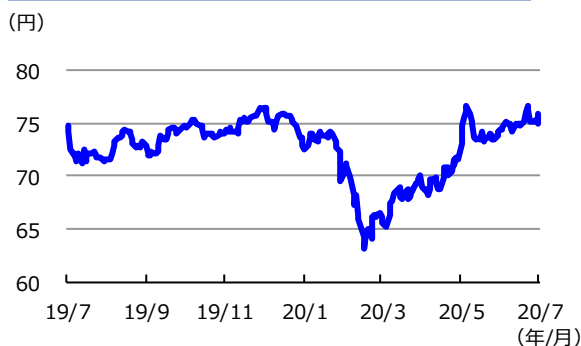
為替

先週の豪ドルの対円レートは、上昇しました。

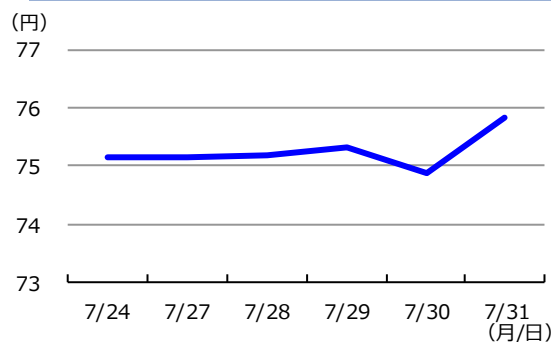
週初は、米中対立に対する懸念が継続していましたが、豪ドルの対円レートはほぼ横ばいで推移しました。また、週半ばに公表された豪CPIの伸びの鈍化に対する反応も限定的なものに留まりました。週後半は日本における新型コロナウイルス感染者再拡大を懸念した円売りの動きが見られたことから、週間で見ると豪ドルの対円レートは上昇しました。

| 単位 (円) | 2020/7/31 | 1週間前 | 1カ月前 | 3カ月前 | 6カ月前 | 1年前 |
|--------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 円/豪ドル | 75.82 | 75.15 | 74.28 | 70.01 | 72.56 | 74.84 |

豪ドルの対円推移 (過去1年)



豪ドルの対円推移 (過去1週間)



(注) 左グラフは2019年7月31日～2020年7月31日、右グラフは2020年7月24日～2020年7月31日。

(出所) リフィニティブのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

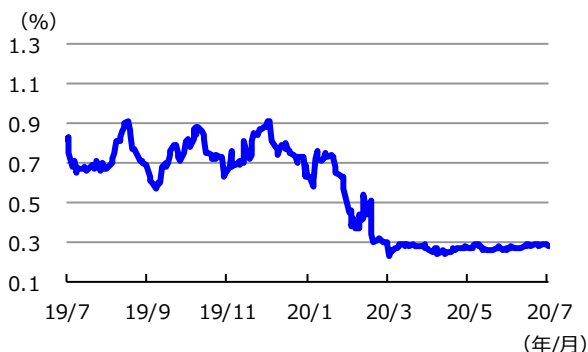
金利

先週の豪州3年国債利回りは、若干低下しました。

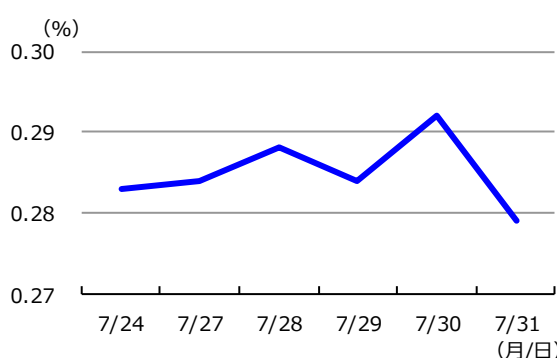
週前半は米中対立懸念がくすぶりましたが、米国の追加景気対策期待などから利回りはゆるやかに上昇しました。週後半は米国の景気対策協議の難航に対する懸念などを背景に利回りは低下しました。週間を通してみると豪州3年国債利回りは低下（国債価格は上昇）しました。

| 単位 (%) | 2020/7/31 | 1週間前 | 1カ月前 | 3カ月前 | 6カ月前 | 1年前 |
|--------------|-----------|------|------|------|------|------|
| 豪3年国債 利回り | 0.28 | 0.28 | 0.26 | 0.27 | 0.63 | 0.82 |

3年国債利回りの推移 (過去1年)



3年国債利回りの推移 (過去1週間)



(注) 左グラフは2019年7月31日～2020年7月31日、右グラフは2020年7月24日～2020年7月31日。

(出所) リフィニティブのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。



最新 オーストラリア マーケット動向

2020/8/4 発行 週刊

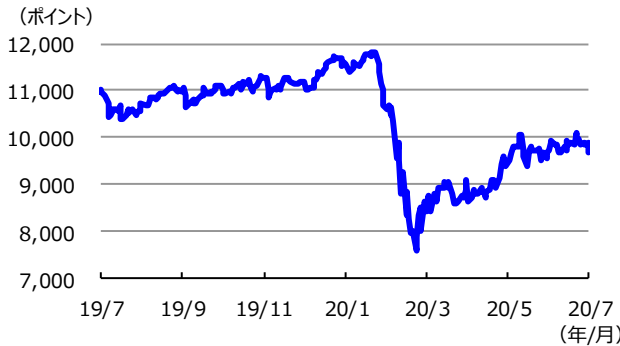
作成：三井住友DSアセットマネジメント株式会社
URL: <https://www.smd-am.co.jp>

株式

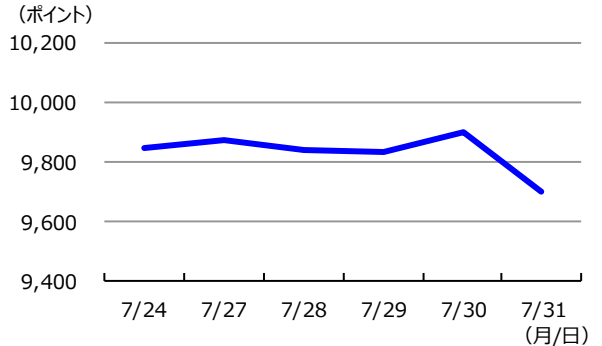
先週の豪州株式は、下落して引けました。
週の前半は、米国の景気対策期待などを背景に堅調に推移しました。その後は、米国2QGDP前期比年率が過去最大の落ち込みとなり、新型コロナ感染再拡大に対する懸念も続いていることなどから下落に転じ、週間では下落となりました。

| 単位 (ポイント、%) | 2020/7/31 | 1週間前 | 1カ月前 | 3カ月前 | 6カ月前 | 1年前 |
|-------------|-----------|--------|------|------|---------|---------|
| 指数・騰落率 | 9,699.13 | ▲ 1.47 | 0.31 | 6.69 | ▲ 16.09 | ▲ 11.55 |

株式指数の推移 (過去1年)



株式指数の推移 (過去1週間)



(注) 左グラフは2019年7月31日～2020年7月31日、右グラフは2020年7月24日～2020年7月31日。

株式指数は、MSCIオーストラリア指数 (配当込み、現地通貨ベース)。

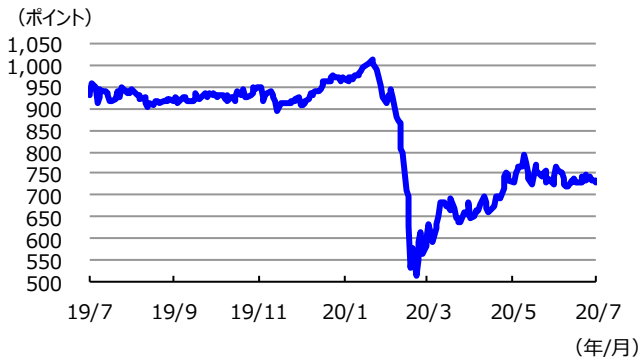
(出所) FactSetのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

リート

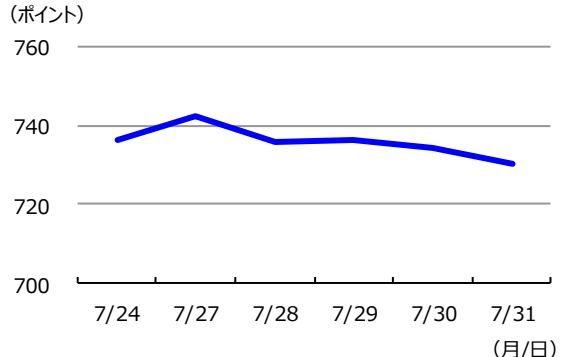
先週の豪州リート指数は、低下しました。
週初は米国の追加景気対策などを受け上昇して始まりましたが、新型コロナ感染が再拡大していることなどを背景に低下に転じました。その後も週後半公表の豪州住宅許可件数が軟調だったことなども背景に低下基調が継続し、週間でも低下となりました。

| 単位 (ポイント、%) | 2020/7/31 | 1週間前 | 1カ月前 | 3カ月前 | 6カ月前 | 1年前 |
|-------------|-----------|--------|------|------|---------|---------|
| 指数・騰落率 | 730.26 | ▲ 0.80 | 0.71 | 6.55 | ▲ 24.59 | ▲ 21.69 |

リート指数の推移 (過去1年)



リート指数の推移 (過去1週間)



(注) 左グラフは2019年7月31日～2020年7月31日、右グラフは2020年7月24日～2020年7月31日。

リート指数は、S&PオーストラリアREIT指数 (配当込み、現地通貨ベース)。

(出所) FactSetのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。